

サンライト化成株式会社

独創的な成形法でつくる 熱硬化性の高精度部品

期 納 相 談
企 画 力 有
自 信 コ ス 相 談
オ ン リ ン 技 術
メ ン ト
イ ン タ ー
ナ ー シ ャ ン
試 作 可 小
口 量 対 産 成



複雑で精密な部品を樹脂で生産

業務内容 熱硬化性樹脂の エキスパート

プラスチックには、熱で軟化する「熱可塑性」と、熱で硬くなる「熱硬化性」がある。このうち後者は「燃えないプラスチック」とも呼ばれ、高熱に触れる商品や電圧のかかる部品等に使用されてきた。同社が手掛けているのは、この熱硬化性の樹脂部品。中でも、厳格な品質が要求される電子機器や自動車分野からのニーズが高い。

強み 「ゲート痕を残さない マジックゲート成形法」

熱硬化性樹脂は手離れが悪いといわれるが、この点を克服し、しかも後処理のいらぬ高精度な樹脂成形を可能にしたのが、同社の誇る特許技術「マジックゲート成形法」だ。

通常の射出成形では、必ずといっていいほどゲート痕（樹脂の注入跡）が残るが、この成形法では一切残らないので、成形直後から美しい外観を得ることができる。加えて、ゲートからの粉塵が入りにくいため、数ミクロンの異物混入さえ許されない精密品にはうってつけだ。

もう一つの特長が、射出の際に生じるバックフロー（樹脂の逆流）が起らないことだ。これによって、高密度・高強度の成形が可能になる。

産体制 金型から組立まで 一貫して行う

マジックゲート成形法と並んで特筆すべきは、金型製造のノウハウと一貫生産できる総合力だ。同社には、非常

に複雑な形をした異形品の依頼も寄せられる

が、そんな場合も、社内では金型を製造し、試作品の検討から量産、組立までトータルに行うことができる。ゴム、ガラス、アルミダイカスト等、5種類の素材を含む部品を、樹脂のみで完成させてほしいとの依頼にも応え、たった1回の成形で高精度かつ安定性のある部品をつくり出している。



一貫体制を整えた生産現場

今後の展望 整った生産体制をもとに 自社製品をつくりたい

「これまで金属でつくっていた部品を樹脂に転換したい、という要望が増えていきます。樹脂のメリットは『軽い』『量産可能』『さびない』というところ。パソコンや電気自動車部品の分野等、まだまだニーズは発生すると思っております」と久目社長は語る。

現在の主力となっているのは、取引先の要望をかなえる「問題解決型のものづくり」だ。今後それがメインではあるが、そこはものづくり職人、やはり自社製品の開発にも挑戦したいという。「つくろうと思えば、携帯電話をもつくれる生産体制がすでに整っています。いつかは、当社製の製品を世に出したいですね」と、久目社長は意欲的だ。

COMPANY PROFILE

サンライト化成株式会社

大阪 23



八尾市で産声を上げ、その後、先代の故郷である鹿児島県にも工場を設立。平成4年には「マジックゲート方式射出成形法」の特許を取得しました。これによって、精密な熱硬化性の成形が可能になり、付加価値商品の製造や他社との差別化を図ることができました。鹿児島工場では、産官学で共同し、バイオプラスチックの実用化に向けた開発も行っています。

どこでもできるものではなく、ここでしか
できないものづくりを守っていきたい。

代表取締役 久目 勝浩さん



■主な事業内容
熱硬化性・熱可塑性樹脂の各種精密成形、金型の設計・製作、プレス・金属の加工等

■主な取引先（納入先）
電機メーカー、制御機器メーカー、自動車関連メーカー等

住 所 / 〒581-0035
八尾市西弓削1-1-1
T E L / 072-949-9664
F A X / 072-949-7624
創 業 / 昭和52年12月
設 立 / 昭和52年12月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 37名

<http://www.sunlight-kasei.co.jp/>